



2学期が始まりました。夢実現に向けた有意義な高校生活や人生は、自分の手でつくみましょう。

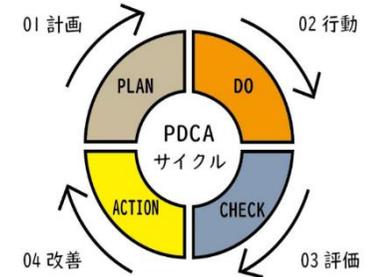
「夢八訓」

- 一 「夢」のある者には希望がある。
- 二 希望のある者には目標がある。
- 三 目標のある者には計画がある。
- 四 計画のある者には行動がある。
- 五 行動のある者には実績がある。
- 六 実績のある者には反省がある。
- 七 反省のある者には進歩がある。
- 八 進歩のある者には「夢」がある。

夢のある者は

「夢八訓」は、「夢」に始まり、順に希望→目標→計画→行動→実績→反省→進歩と八つのプロセス(八訓)を経て再び大きくなった「夢」に戻ってきます。つまり、「夢をもたなければ夢はかなわない、しかし、単に夢をもつだけではダメであり、ループしながら大きく成長しなければならない」という教えです。

また、皆さんは、「PDCAサイクル」を知っていると思いますが、図のように Plan(計画)→Do(行動)→Check(評価≒反省)→Action(改善≒進歩)というプロセスを繰り返すことで、絶え間ない成長が進められるということです。「学業」「進路」を進める上でも重要です。



「夢八訓」は、この「PDCAサイクル」と同じ形式であり、「夢をかなえるためには夢をもて」と示すサイクル型の教訓です。

今の自分において「夢」が判らなくても、焦ることはありません。判らない時、判らなくなった時、見えない時、見えなくなった時には、今、今日、明日、これから等、目の前の実現可能な「目標」から着実に達成させていく努力も大切です。

コロナ禍の影響で、何もかもができなくなっている今、“世のせい” “他人のせい” にしてしまうことなく、「今できる事」「今やらなければならない事」をしっかりと見付け、自覚し、始めてください。「夢八訓」中の「ある」が「ない」にならないようにしてください。



Those who have dreams do not neglect their efforts.

(夢を持つ者は、努力することを怠らない)



皆さんは、自分の「夢」を実現させるために何をやりますか。 また、何から始めますか。